

設備工事情報シート	衛 生	I - P - 16	制 定	2017年3月1日
			改 訂	
I. 施工要領	災害用トイレ配管システム		クボタケミックス編	

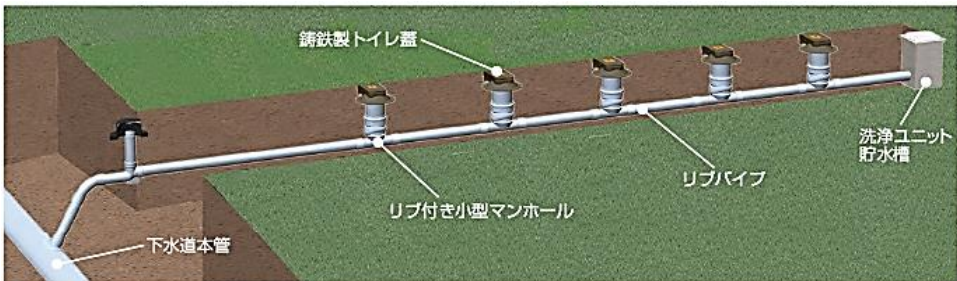
1. 目的・概要

災害発生直後、速やかに設営し機能させなければいけないのがトイレである。全国の避難所となる学校や公園では、マンホールの蓋を開けるとトイレとして使用できる災害用トイレ（マンホールトイレ）の設置が増加している。一般のマンホールトイレは、公共下水道が使用できないと汚水を流せないため、下水道管路の耐震化が前提条件である。

以下、下水道管路直結の「直結型」と、下水道本管が被災しても汚水を貯留できる「貯留型」の紹介と施工手順について紹介する。

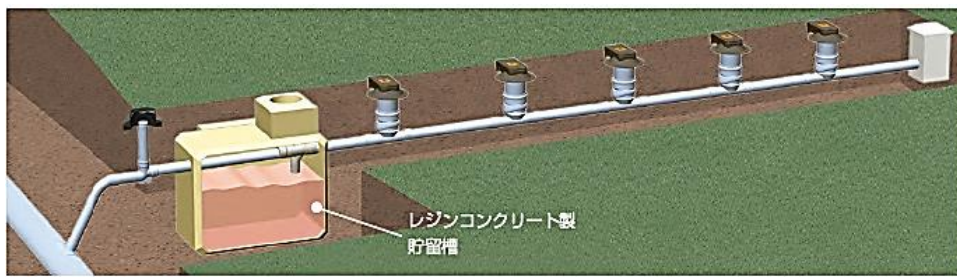
2. 構造

(1) 直結型 … 衛生的、経済的、コンパクト配管が可能な直結型



2011年の東日本大震災では、本システムが実際に使用された。
特に下水道管路が耐震化された地域向け。

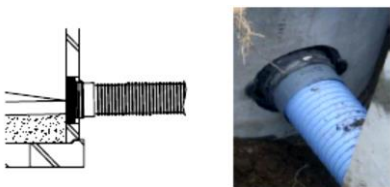
(2) 貯留型 … 直結型のメリットに3日間の貯留機能をプラス




下水道本管が被災しても、レジンコンクリート製貯留槽に3日間、し尿と洗浄水を貯留することができる。下水道本管が被災していなければ、直接下水道へ直接流せる2ウェイ方式。
特に下水道本管が耐震化されていない地域向き。

3. 標準配管例

リブ可とうマンホール継手使用例



リブ上流用マンホール継手使用例



塩ビ製マス変換使用例

